

ごみの減量から 地球温暖化防止へ

「ごみ処理量は減少し、リサイクル率は増加しているという理想的なごみダイエットを進めている洞爺湖町ですが、昨年度に処理されたごみは5556ト、ごみ収集車の台数に換算すると約2,500台分とまだまだ減らせるものはありそうです。

また、ごみ処理の有料化から3年が過ぎ、一時期の大きな減量からそろそろリバウンドの予感が…。

そこで、今月号で紹介するのがこれ。

『資源ごみ集団 回収助成金制度』

家庭から出る古新聞や雑誌など、再生利用できるものを地域のみなさんが協力して集め、リサイクルする取り組みが「資源ごみ集団回収」です。

町では、自治会や老人クラブ、子供会などの集団回収活動に対し、回収量に応じて助成金を交付しています。

昨年度は28団体が集団回収を実施し約590トもの資源ごみ

が回収されています。

助成を受けるには団体としての登録が必要ですので、生活環境課（☎74・3006）まで問合せください。

年 度	ごみ処理量 合 計	燃やせるごみ 燃やせないごみ	資源くん (生ごみ)	資源ごみ (缶 瓶 ペット)	集団回収	リサイクル率
15年度	7,570 ^ト	5,865 ^ト	1,262 ^ト	145 ^ト	298 ^ト	23.3%
16年度	6,028 ^ト	4,074 ^ト	1,254 ^ト	236 ^ト	464 ^ト	32.4%
17年度	5,754 ^ト	3,752 ^ト	1,252 ^ト	221 ^ト	529 ^ト	34.8%
18年度	5,556 ^ト	3,534 ^ト	1,248 ^ト	184 ^ト	590 ^ト	36.4%

こんな取り組み知っていますか？

リサイクルプラザの家具リサイクル

西いぶり広域連合のリサイクルプラザでは、みなさんの家庭で不要となり提供いただいた家具を補修し、再びみなさんに提供する「家具のリサイクル」を行っています。

タンスや学習机などの簡単に補修できるものが対象です。

まだまだ立派に使えるものがたくさんあります。一度ご覧になってみませんか。

※不用となった家具の回収は役場で行いますので、生活環境課まで問合せください。

犬の散歩は
大切ですが…
ちゃんと袋を
持っていますか？

町 内の道路や公園などに犬のフンが多く、近所の方や公園の利用者から苦情が寄せられています。一部の無責任な飼い

回収される資源くん(生ごみ)の水分が多く、汚水の処理に困っています。もともと資源くんには水分が多く含まれていて、水分調整のために木の皮を砕いた「バーク」を混ぜて堆肥にしていますが、それでも調整しきれない大量の汚水が発生しています。

多すぎる水分は堆肥の品質に悪影響を与えてしまいます。ご家庭で徹底した水切りをお願いします。

こまってるんです…

良い堆肥を 作るには水切り が大切です



ビニール袋は
堆肥にできないよ！

花美館で回収されるビニール袋の量が増えています。資源くんを出すときに袋を二重、三重に重ねている方がいるようですが、しっかり水切りをすれば袋は一枚で十分です。

リサイクルするために、他にゴミが出るようでは本当のリサイクルとはいえません。みなさんの協力をお願いします。

主の行動が犬を飼う人全体のイメージを悪くしています。

散歩中のフンの回収は最低限のマナーです。子供たちが安心して安全に遊べる環境を守るためにも、飼い主が責任をもってフンを持ち帰りましょう。

きれいで住みよいまちを作るためにみなさんの協力をお願いします。

